

(令和3年11月試験研究業務月報)

試験研究課題：開発農地における新規作物の導入

研 究

加工向け夏まきレタスの品種選定を実施

丹後地域では、国営開発農地を中心にキャベツ等のアブラナ科野菜の加工用契約栽培が推進されています。しかし、アブラナ科野菜の連作が進むにつれ、根こぶ病の多発等、連作障害が問題となっています。そこで当所では、アブラナ科以外の品目としてニンジン、レタス等を取り上げ、連作障害回避作目として現地へ導入できるよう検討を行っています。

加工用レタスとしては、球重が大きくかつ球が締まりすぎない品種が求められます。今月は、収穫期を3回に分けて調査を行い、品種毎の球の締まり具合（球緊度）及び収穫適期を調査しました。今後は、丹後の気候や国営開発農地の土質に適した品種と栽培方法を現地に提案できるよう、品種選定を行っていきます。



収穫調査の様子

農林センター（丹後農業研究所）